

平成 30 年 10 月 31 日

各 位

鹿児島相互信用金庫  
理事長 稲葉 直寿

### 業務改善に向けた取組みについて

鹿児島相互信用金庫(理事長：稲葉 直寿)は、平成 29 年度に発覚しました不祥事件等を受けて業務改善計画を策定し、当該計画に沿って法令等遵守態勢、経営管理態勢及び内部管理態勢の充実・強化に取り組んでおります。

これまでの当金庫の主な取組み状況につきましては以下のとおりでございますが、コンプライアンスがすべての業務の基本であるとの認識のもと、ふたたび地域のお客様に信頼され、選ばれる金融機関を目指して、取組みを着実に進めてまいります。

なお、今後、取組みの進捗はディスクロージャー誌にてお知らせしてまいります。

### 記

#### ●コンプライアンス態勢諮問委員会の設置

経営管理態勢、法令等遵守態勢及び内部管理態勢等に関して、客観的な評価と提言・助言を受けるため、外部有識者からなるコンプライアンス態勢諮問委員会を平成 30 年 6 月に設置しました。

#### ●コンプライアンス宣言の策定

コンプライアンスを重視する組織風土に転換していくため、コンプライアンス宣言を策定、平成 30 年 8 月に公表しました。

#### ●内部通報制度の整備

役職員からコンプライアンス違反に関する報告を適時適切に受けるため、内部通報制度を整備し、新たに外部窓口を設置しました。

#### ●内部監査態勢の改善・強化

不祥事の摘発・未然防止のため、不祥事リスクを洗い出すとともに抜打ち監査やオフサイトモニタリングの実施などにより内部監査態勢の改善・強化に努めています。

#### ●相互牽制態勢の確立

事務取扱規程等を見直すなどにより相互牽制の発揮に努めています。

以 上